

プレスリリース

2013年1月18日(日本時間)

Guy Turner
Bloomberg New Energy Finance
+44 20-3216-4086

炭素市場活動が過去最高を記録

*ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスの分析によれば、
2012年の世界炭素市場における取引は前年比26%増、世界のCO2排出量の
3分の1相当という記録的なレベルを達成*

ロンドン、2013年1月18日(日本時間) – ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスの分析によれば、世界炭素市場の取引量は2012年に26%増加し、107億トンに達した。これは、世界のCO2総排出量の3分の1に相当する。2010年以降、世界炭素市場の取引活動は、毎年約25%のペースで着実に増加している。

2012年の活動の多くは年末に行われ、過去3四半期の平均と比べて最終四半期の取引は70%急増した。2012年最終四半期単独で、年間総取引量の36%を占めた。欧州排出権取引制度(EU ETS)における取引活動は、2012年第1四半期から第3四半期の平均と比べて第4四半期に約40%増加した。また、発展途上国や旧東欧諸国(特にロシアおよびウクライナ)からの炭素クレジットである国連オフセットについては、同様の基準で市場流動性が150%超の急増となった。

EU ETSにおける取引活動の増加には、主に2つの要因が関係している。

- 割当量配分のオークション利用が増加。さまざまな期間にわたる取引契約で、需要と供給の釣り合いをとる仲介者はより積極的に取引に関与するようになっており、オークション利用の増加は取引活動に直接または二次的影響を与えている。
- ボラティリティと投機の増大。これは、欧州委員会がEU ETSの価格を下支えするために市場の割当量を抑制したことと関連している。

国連オフセットの取引が激増した理由は、これらのクレジットの年内発行/取得を求める取引、あるいは記録的な低価格に乗じた取引が殺到したためである。適格性に関して、欧州では2012年以降に発行される東欧諸国からのオフセットが禁止される可能性があり、これはデベロッパが年内にできるだけ多くのクレジットを発行する動機付けとなった。2012年の最終四半期には、これらのオフセットの二次取引が、第3四半期の500メガトンから80%増の890メガ

ンに増加した。一次発行の 480 メガトンにより取引量はさらに増加し、2012 年第 3 四半期の記録より 3 倍高い数字となった。

しかし、取引活動が増加した半面、世界炭素市場の価値は低下した。2012 年には、2011 年比 36% 減、また 2008 年の市場価値をわずかに下回る 610 億ユーロにまで下落した。これは、これまでにない年間下落率で、EU ETS の主要市場における供給過剰により、価格が深刻なレベルにまで低下した結果である。所有者が変わった排出権の平均炭素トン/は、2012 年ではわずか 5.7 ユーロ/トンで、前年の 11.2 ユーロ/トンからほぼ 50% の減少となった。この価格低下のほとんどが国連オフセット価格の暴落を原因としている。一次発行が記録的なレベルに達したことで、10 月から 12 月までの間に、発展途上国からのクレジットは 85%、東欧諸国からのクレジットは 92% の価値を失った。

今後の展望としてブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスは、2013 年には市場価値が、2009 年および 2010 年と同レベルの約 800 億ユーロにまで回復すると予測している。これは、EU ETS におけるオークション利用がより一層増え、炭素取引量がさらに 17% 増の約 125 億トンにまで増加すること、また欧州委員会が EU ETS に介入することで、平均価格が約 15% 増の 6.6 ユーロ/トン程度にまで回復することで実現される。

欧州委員会が EU ETS のバックロード提案に成功すると仮定し、ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスは世界炭素市場が成長軌道に戻り、2014 年には 960 億ユーロの新たな記録を達成すると予測している。カリフォルニアと、後にはオーストラリアのコンプライアンス市場が EU ETS に参加するため、2013 年から 2015 年にかけて炭素市場はさらなる追い風を受ける。当社の予想では、2015 年までにはこうした新たな市場が世界炭素市場の価値の 35% を占める。

ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスの炭素市場調査担当ディレクター Guy Turner は、次のように語る。

「政治の行き詰まり、価格低迷という状況下でも、2012 年に炭素市場の取引活動は成長を続けた。これは、こうした市場がどれほど効率よく機能しているかを示すものだ。政策立案者に今、求められるのは、この市場がもつエネルギーを利用することである。革新を後押しし、排出量のさらなる削減を促し、費用を削減するような政策を立案するのだ」

「カリフォルニア、オーストラリア、韓国では、既にこうしたことが実現しはじめている。これらの市場を EU ETS と連携させる試みは、正しい方向に向けた重要な動きだ。より多くの国が今こそ後に続き、先進経済とより広範な発展途上経済を含む世界的な取引体制に参加する必要がある」

Figure 1: Historical prices (€/tCO₂e)



Figure 2 Quarterly traded volumes for main carbon markets, Q1 2009-Q4 2012 (Mt)



Figure 3. Carbon market value (€bn)



Source: Figures taken from Bloomberg, ECX, Bluenext, EEX, CCX, Nordpool, include UNFCCC and our own Bloomberg New Energy Finance estimations. "Others" includes California, RGGI and NSW GGAS.

Annual change in total transacted volumes (Mt)

		2011	2012	Change	% change
EU ETS	Exchange traded	4,133	4,798	665	16%
	OTC, cleared across exchange	2,314	2,694	380	16%
	Auctions	86	229	142	165%
Total EU ETS		6,533	7,720	1,187	18%
sCERs	Exchange traded	487	600	113	23%
	OTC, cleared across exchange	925	1,098	173	19%
sERUs		67	426	359	539%
pCERs and pERUs		413	816	403	97%
AAUs		49	12	-37	-75%
Total Kyoto protocol markets		1,941	2,952	1,011	52%
Others		26	57	31	120%
Total		8,500	10,729	2,229	26%

Source: Bloomberg New Energy Finance

Annual change in total transacted values (€/bn)

		2011	2012	Change	% change
EU ETS	Exchange traded	55	37	-18	-33%
	OTC, cleared across exchange	22	16	-7	-30%
	Auctions	1	2	1	48%
Total EU ETS		78	54	-24	-31%
sCERs	Exchange traded	4	2	-3	-63%
	OTC, cleared across exchange	8	3	-5	-67%
sERUs		0.46	0.63	0.17	37%
pCERs and pERUs		4	1	-2	-62%
AAUs		0.33	0.02	-0	-94%
Total Kyoto protocol markets		17	6	-11	-63%
Others		0.1	0.4	0.3	341%
Total		95	61	-34	-36%

Source: Bloomberg New Energy Finance

ニュー・エナジー・ファイナンスについて

ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンス(BNEF)は、再生可能エネルギー、エナジースマートテクノロジー、カーボン(排出権)市場、二酸化炭素回収・貯留、原子力などの分野における情報提供で世界をリードする独立系プロバイダーです。意思決定者を対象に、ニュース、データ、リサーチおよび分析を提供しています。ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスは、世界各国(ロンドン、チューリッヒ、パリ、ワシントン D.C.、ニューヨーク、サンフランシスコ、東京、北京、ニューデリー、シンガポール、香港、シドニー、ケープタウン、サンパウロ)の拠点に 200 人のスタッフを配置しています。

ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスは、世界中の有力な投資家、企業および政府のお客さまにご利用いただいております。「インサイト・サービス」は、風力発電、太陽光、バイオエネルギー、地熱、二酸化炭素回収・貯留、省エネルギー、原子力などの分野に関する詳細な市場分析を提供します。そのほかにも、主要新興カーボン市場(欧州、京都議定書、オーストラリア、米国)と、各地域において計画されている地域市場、潜在的な連邦政府イニシアチブ、自主的な取り組みがみられるカーボン市場などの情報も網羅されています。ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスの「インダストリー・インテリジェンス・サービス」は、クリーンエネルギーやカーボン市場における投資家および投資に関する世界で最も信頼性の高い総合データベースへのアクセスを提供します。「ニュース&ブリーフィング・サービス」は、クリーンエネルギー投資に集中した最新のグローバルニュースお届けします。お客さまのためのアプライドリサーチの実施や、マネジメント層を対象とした交流会の開催も行っています。

ニュー・エナジー・ファイナンス・リミテッドは、2009 年 12 月に Bloomberg L.P.によって買収され、現在、Bloomberg Finance L.P.がそのサービスおよびプロダクトを所有し提供しています(ただし、アルゼンチン、バミューダ、中国、インド、日本、韓国においては、Bloomberg L.P.とその子会社(BLP)が提供しています)。ニュー・エナジー・ファイナンスに関するお問い合わせ先:

電話:03-3201-3614

Email: ssakaguchi2@bloomberg.net (担当: 坂口)

ブルームバーグについて

ブルームバーグはあらゆるビジネスとプロフェッショナルに情報を提供する世界で最も信用ある情報配信ソースです。ブルームバーグは革新的な技術と比類なき分析ツール、データ、ニュース、表示・配信機能を融合させ、必要とされる情報をブルームバーグ プロフェッショナル サービスとマルチメディアプラットフォームを通じて配信しています。ブルームバーグのメディアサービスでは 2300 人余の報道および

びマルチメディアの専門家が、72 カ国146 支局を基点に、世界を網羅しています。ブルームバーグテレビジョン® は 2 億 4000 万世帯に向けて 24 時間放映しています。ブルームバーグ ラジオ® サービスは「SIRIUS XMラジオ」および衛星ラジオ「1worldspace™」を通じて世界中に放送されており、ニューヨークでは WBBR 1130 AM で放送されています。また、BLOOMBERG MARKETS® マガジン、Bloomberg Businessweek マガジン、BLOOMBERG.COM® ウェブサイトを通じ、ビジネス界のリーダーと投資家向けにニュースおよびインサイト情報を提供しています。詳しくはブルームバーグのウェブサイトをご覧ください。 <http://www.bloomberg.com> .

ブルームバーグ・プロフェッショナル® サービス及びブルームバーグ・データ・プロダクトは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー (BFLP) が所有、配信しています。ただし、以下の地域においては、ブルームバーグ・エル・ピー及びその子会社 (BLP) が同プロダクトを配信しています。アルゼンチン、バミューダ、中国、インド、日本、韓国。BLOOMBERG (ブルームバーグ)、BLOOMBERG NEWS (ブルームバーグ ニュース)、BLOOMBERG TELEVISION (ブルームバーグ テレビジョン)、BLOOMBERG RADIO (ブルームバーグ ラジオ)、BLOOMBERG MARKETS (ブルームバーグ マーケッツ)、及び BLOOMBERG.COM (ブルームバーグ・ドット・コム) は、米国デラウェア州におけるリミテッド・パートナーシップであるブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー及びその子会社の登録商標及びサービスマークです。無断複写・複製・転載を禁じます。